LANmark-OF ENSPACE MTP-LC モジュール

LANMARK-OF 超低損失 ENSPACE MTPモジュール ストレート 12 LC マルチモード バイオレットシャッター内蔵

Aginode Ref: NSPACE.MSLC12VS



- 前面に12個のLCマルチモード・バイオレット・アダプタ、背面に1個のMTPアダプタを備えたENSPACEモジュール
- モジュール内部のMTP-12LCファイバーアセンブリ向けに、超低損失のマルチモード性能を実現
- ストレート配線
- 本モジュールは、Aginode社のENSPACEパッチパネルに簡単に取り付け可能
- モジュールはパネルの前面および背面から設置可能

ENSPACEのMTPモジュールは、前面に3つの4ポートLCアダプタ、背面に1つのMTPアダプタを備えています。[illegible]、ファイバーアセ

LCアダプタのスリーブは、高品質なジルコニア製です。LCアダプタには金属製のシャッターが組み込まれています。

これらのモジュールは、ENSPACEパネルのトレイに背面および前面から取り付け可能であり、設置時や移設・増設・変更時の柔軟性を高

ENSPACE UHD 1Uパッチパネルには、最大12個のENSPACE
MTPモジュールを迅速に設置できます。これら12個のモジュールにより、1U内に144個のLCポートという超高密度を実現できます。

ENSPACE HD 1Uパッチパネルには、最大8つのENSPACE
MTPモジュールを迅速に設置できます。これら8つのモジュールにより、1Uあたり96
LCという高密度を実現できます。

ENSPACEモジュールのカバーには、ファイバーのラベルが印刷されています。

TIA-568-
C規格の極性方式A、B、Cでは、以下のモジュールおよびトランクを使用する必要があります：

- 極性方式Aを実装する場合、リンクの両端に方式Aのプレタームストレートモジュールを使用します。
- 極性方式 B を実装する場合、方式 B 対応の Pre-Term
  ストレートモジュールをリンクの片側に、クロスモジュールをもう片側に使用します。
- 極性方式Cの実装では、方式Cのプレタームストレートモジュールがリンクの両端で使用されます。

ENSPACEモジュールには、標準のピンなし（メス）コネクタが搭載されています。これは、ENSPACE
MTP Pre-
TermのMTPコネクタ（オス）のピン付き（オス）コネクタと完全に適合します。

モジュールの挿入損失は、IEC 61300-3-45
に準拠して測定されます。モジュールの最小反射損失は、IEC
61300-3-6 に準拠して測定されます。

すべての接続は工場で終端処理および試験済みであるため、設置時間が短縮され、迅速な導入が可能になります。

* MTPはUS Conecの商標です

STANDARDS

ISO/IEC 11801

All drawings, designs, specifications, plans and particulars of weights, size and dimensions contained in the technical or commercial documentation of Aginode is indicative only and shall not be binding on Aginode or be treated as constituting a representation on the part of Aginode.

LANmark-OF 超低損失 ENSPACE MTPモジュール ストレート 12 LC マルチモード バイオレットシャッター内蔵

Characteristics

Construction characteristics	
Colour	Violet
Fiber optic type	Multimode
Wiring type	Straight
Transmission characteristics	
Insertion Loss, maximum, dB	0.35 dB
Return Loss, Minimum, dB	20 dB
Insertion loss, typical value	0.2 dB

All drawings, designs, specifications, plans and particulars of weights, size and dimensions contained in the technical or commercial documentation of Aginode is indicative only and shall not be binding on Aginode or be treated as constituting a representation on the part of Aginode.